

横浜市上倉田地域
ケアプラザ

さくらだより。

とつかハートプランご意見募集します！

とつかハートプラン地区別計画が、いよいよ計画の検討段階に入りました。今後は、地域の方々にご意見・アイデアをいただき、より地域に寄り添った計画を策定したいと考えています。今回さくらだよりを变則的に発行し、上倉田地域ケアプラザエリアの計画案を掲載いたしました。「こんなこと、あったら良いな」、「面白いことしてみたい！」などのご意見・アイデアありましたら、下記連絡先までどしどしお寄せください！皆様の声、お待ちしております！！

戸塚区福祉保健課 事業企画担当

戸塚区戸塚町 157-3
電話:866-8424
Fax:865-3963
E-mail
to-tihukuho@city.yokohama.jp

戸塚区社会福祉協議会

戸塚区戸塚町 167-25
電話:866-8434
Fax:862-5890
E-mail
totsukaku@trust.ocn.ne.jp

横浜市上倉田地域ケアプラザ

横浜市戸塚区上倉田町 259-11
電話:865-5700
FAX:865-5711
E-mail
kamikurata@hirakukaicp.or.jp

【エリアの現状】

範囲

上倉田町、南舞岡1~4丁目、舞岡町の一部

1. 子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で活動・交流できる場があるといい！
2. 支援が必要な方への見守り・支えあい活動がもっと充実するといい！
3. 地域活動への担い手が増え、担い手を支える環境が整うといい！
4. 災害時の助け合いの仕組みづくりが広がるといい！



目標 1 子どもから高齢者までがふれあい、育ちあえる場づくり



区計画

具体的
取組

- ◆ 人材・活動・施設等の地域資源の情報を、地域全体に行き渡らせる仕組みの検討
- ◆ 自治会館等を使った、高齢者や子育て層等が気軽に立ち寄れる場や機会の創出
- ◆ 空き家を活用した総合的なふれあい拠点の設置、運営

取組
内容

取組主体	取組の内容
自治会 町内会	地域で利用できる施設や人材・活動の情報を、効果的に周知できる方法(回覧、各戸配付、施設への配付、イベントでのPRなど)を検討し、利用につなげます。
区役所・区社協 ケアプラザ	地域で利用できる施設の情報を集約し、利用を希望する人が使いやすいように整理します。
地区民児協・ 地区社協	多世代交流のできるサロンを、月数回開催します。 地域で利用できる施設や人材・活動の情報を、効果的に周知できる方法(回覧、各戸配付、施設への配付、イベントでのPRなど)を検討し、利用につなげます。
地区社協	高齢者・子どもなどが気軽に立ち寄れる場を、新たに設置・運営します。

目標2 多様な支え合い活動のサポート

区計画



具体的
取組

- ◆ 自治会・町内会などが中心となった、地域ならではの文化・交流活動（自然・農とのふれあい活動、地域の文化活動など）の情報発信
- ◆ 住む場所にかかわらず、希望の地域活動に参加できるような仕組みの検討
- ◆ 身近な地域での助け合いにつながる、日頃からの隣近所の付き合い、支え合いの促進

取組
内容

取組主体	取組の内容
自治会 町内会	町内のイベント情報を発信し、定期的に更新できる仕組みを検討するとともに、住民同士が広くつながる交流イベントの開催を促します。
地区民児協・ 地区社協	地域内で、日常のちょっとした困りごとを手伝い、解決するボランティア組織を充実、増加させます。 配食会・会食会などを通し、参加者と活動者、参加者同士などの地域のつながりを発展させていきます。
活動団体	障がい児を含む子育て支援活動に、エリア内の子ども、養育者が参加しやすい環境づくりを進めます。



目標3 ボランティアの担い手の掘り起こしと育成



区計画

具体的
取組

- ◆ 男性がいきいきと活躍できる機会や仕組みの工夫（花壇づくり、祭りの手伝い等）
- ◆ 幅広い担い手を増やし、支援する環境づくり
- ◆ 世代特性等に応じたテーマ設定や参加の場の設定など、具体的なきっかけづくり

取組
内容

取組主体	取組の内容
自治会 町内会	地域での趣味や交流の場に参加する機会を増やし、誰もが担い手として活動に参加しやすくなる環境づくり(楽しく好きなことができる、気軽な形で参加できる、知り合いからの声かけ等のきっかけづくりなど)を進めます。
地区社協	ボランティアニーズを具体的に把握し担い手となる人材情報を集めながら、できるところから継続的に取組める仕組みづくりを各団体と連携して進めます。
地域ケア フラザ	ボランティアを頼みたい方としたい方の登録・あっせんができる仕組みづくりの検討を各団体と連携して進めます。

目標4 災害時の助けあいの仕組みの拡充



区計画

具体的
取組

- ◆ 災害時要援護者支援の仕組みの普及促進
- ◆ 一人暮らし高齢者、障がい者等を対象とする自治会ベースの助けあいの仕組みづくり
- ◆ 自治会による自主防災組織、地域防災拠点運営委員会の活動の充実

取組
内容

取組主体	取組の内容
自治会 町内会	地域の災害時要援護者に関する情報を民生委員等と協力して定期的に更新し、必要な時に有効に使える仕組みを検討します。
地区 民児協	モデルとなる災害時要援護者支援の仕組みを広め、普及啓発する機会を設けます。
地域ケア フラザ	特別避難場所として迅速に機能するよう、日頃から民児協等と協力して、実践的な防災訓練に取組めます。
地域防災拠点 運営委員会 個人	地域の自主防災組織と拠点運営委員会の連携を強め、いざという時に役立つ実践的な防災訓練等を、個々あるいは合同で繰り返し実施します。